

決議案第1号

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める決議

別紙決議案を江別市議会会議規則（昭和31年議会規則第7号）第13条第1項の規定により提出する。

令和8年3月25日提出

提出者

江別市議会議員	奥野	妙子
〃	岡	英彦
〃	佐々木	聖子
〃	島田	泰美
〃	吉本	和子

## イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める決議

現在、中東情勢はかつてない緊張状態にある。米国及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃、並びにそれに対する報復の連鎖は、多くの子供たちを含む尊い人命を奪い、地域全体の安定を根底から揺るがしている。

この情勢の緊迫化は、国際社会の平和と安全を脅かすのみならず、エネルギー供給の不安定化や物価高騰を招き、市民の日常生活にも多大な不安と影響を及ぼしている。

本市は平和都市宣言において、命を与えられた全ての人々が平和で安心した暮らしを願っていることや、互いの個性や違いを理解し尊重し合うことの大切さを掲げている。軍事攻撃は、戦争のない平和な世界を希求する市民の願いに反する行為であり、断じて容認することはできない。

よって、本市議会は、事態のさらなる悪化と犠牲者の拡大を防ぐため、関係国に対し、全ての軍事行動を直ちに停止し、国際法に基づいた対話と外交による平和的解決に立ち戻ることを求めるとともに、日本政府においては、即時停戦と対話の再開をはじめとする事態の沈静化に向けた主体的かつ積極的な外交努力を主導するよう強く求める。

上記、決議する。

令和8年3月25日

北海道江別市議会